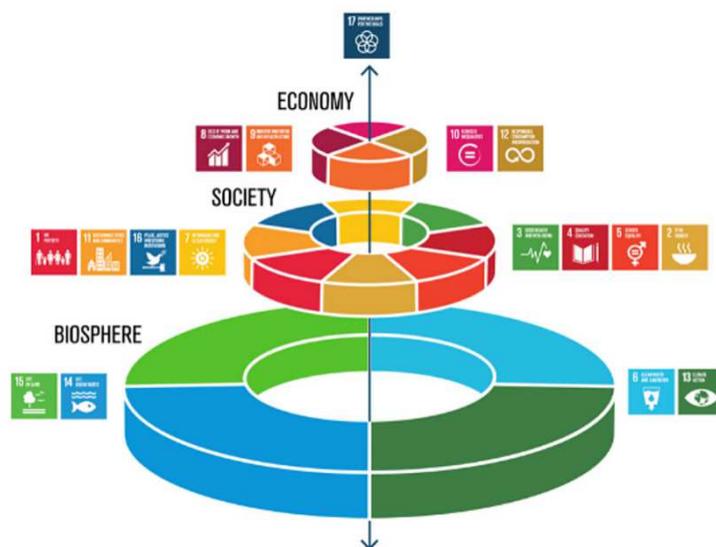


1. SDGs の基礎知識

⑤ 知って美味しいウェディングケーキモデル

SDGs ウェディングケーキと呼ばれるモデルがあることをご存じでしょうか。いかにも美味しそうな名前ですが、SDGs ウェディングケーキモデルは、SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) の概念・構造を表す図の形がウェディングケーキのように見えることから、このように呼ばれています。



概念とは「物事に対する大まかな意味」であり、「確実にこうだ！と断言はできないが、その言葉を聞いて誰もが理解できるもの」です。

乱暴な表現にはなりますが、例えば、「時間」とは何ですか？と聞かれて、明確に断言できる人はいないでしょう。ですが「時間」と言われれば、皆がどんなものか理解できるはずで。こうしたものを概念といいます。

ものごとを進める上で、その概念を理解することは非常に重要であることがお分かりいただけたと思います。SDGs における概念を表したものが SDGs ウェディングケーキモデルになりますから、これを理解すること、ひいては SDGs の各目標同士の関係性をつかむことは非常に重要となります。そのため、SDGs に取り組む入口にいる方にとっては、「モデルを理解することが美味しいこと」と言っても過言ではありません。

本コラムでは、SDGs ウェディングケーキモデルの概要と、17 の目標それぞれの関係性についてご紹介します。

知って美味しい SDGs ウェディングケーキモデル

SDGs ウェディングケーキモデルとは、“SDGs の概念”を表す構造モデルで、このモデルは研究者のヨハン・ロックストローム博士※によって発表された、SDGs の概念を表す構造モデルです。

※ヨハン・ロックストローム博士

スウェーデンの首都・ストックホルムにあるレジリエンス研究所の所長。地球規模の持続可能性の問題に関する研究で、国際的に評価されているスウェーデン出身の研究者

SDGs の目標は全部で 17 あり、この目標を分類すると 3 つの階層からなっていること、また、お互いが密接に関連することをイメージ図で表した結果、ウェディングケーキのような形で表されています。

SDGs ウェディングケーキモデルの 3 つの階層、生物圏・社会圏・経済圏

SDGs ウェディングケーキモデルは、SDGs の目標 17 をケーキの頂点に見立て、その下に『経済圏』・『社会圏』・『生物圏』という 3 階層があり、その 3 階層それぞれに残りの目標 1～16 が含まれています。

また、これら 3 階層の並びには意味があります。まず『経済』が発展するには、生活や教育といった社会条件によって成立します。そして『社会』は最下層にある『生物圏』、人が生活するために必要な自然環境によって支えられるという関係性を表す構造となっています。

それでは、これら 3 階層と SDGs の 17 目標との関係性を、最下層の『生物圏』から順にみていきます。

①『生物圏』…含まれる目標は以下の 4 つです。

目標 6. 安全な水とトイレを世界中に

目標 13. 気候変動に具体的な対策を

目標 14. 海の豊かさを守ろう

目標 15. 陸の豊かさも守ろう

『生物圏』は、私たちが地球上で暮らす上で必要不可欠な海や森林などの環境問題、

気候変動に関する目標が含まれます。

近年、従来の比ではない速度で世界中の国・技術が発展・成長を続けています。これらは、自然環境が整っていてこそ生み出されるもので、『社会』と『経済』は、最下層にある『生物圏=自然環境』によって支えられています。

そのため、最下層の『生物圏』に含まれる4つの目標をクリアする必要があります。

②『社会圏』『社会圏』…含まれる目標は以下の8つです。

- 目標 1. 貧困をなくそう
- 目標 2. 飢餓をゼロに
- 目標 3. すべての人に健康と福祉を
- 目標 4. 質の高い教育をみんなに
- 目標 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 目標 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 目標 11. 住み続けられるまちづくりを
- 目標 16. 平和と公正をすべての人に

『生物圏』の次の階層である『社会圏』は、生活基盤に必要な社会環境、すなわち不自由なく生活し、働ける世界を創造するための目標が含まれます。

最下層の『生物圏』で自然環境が整った上で、健康問題、差別・偏見、教育環境などの社会環境が整うことで、持続可能な社会を実現することが可能となります。

③『経済圏』…含まれる目標は以下の4つです。

- 目標 8. 働きがいも経済成長も
- 目標 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標 10. 人や国の不平等をなくそう
- 目標 12. つくる責任 つかう責任

これまでの流れでもうお分かりかもしれませんが、『経済圏』は、経済の発展が『環境(生物圏)』と『社会圏』の上に成立するものであることを示しています。社会で働く人々の働きやすさ、差別や偏見をなくすことができれば、経済の発展につながるという意味合いになります。

これを実現するには、『生物圏』、『社会圏』それぞれの目標達成が必要不可欠です。

SDGs ウェディングケーキモデルの頂点 SDGs の目標 17

SDGs の目標 1～16 を含む『経済圏』『社会圏』『生物圏』の 3 層で構成される SDGs ウェディングケーキモデルの頂点には、目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」が設定されています。

目標 17 では、全世界の人々がパートナーシップを組み、持続可能な社会を作ること为目标にしています。

目標 17 を達成するには、『経済圏』『社会圏』『生物圏』各層における役割を世界中の国や人々が理解し、目標達成に向けて活動しなければなりません。

まとめ

本コラムでは、SDGs ウェディングケーキモデルとその概念、および SDGs17 の目標との関係性についてご紹介しました。

このモデルを理解することは、SDGs17 の目標が設定された理由が SDGs の本質といえる、持続可能性に必要な考えの理解を深めることにつながります。

<執筆者> 株式会社 吉岡経営センター
コンサルティング部 主任 新谷 尚希

<プロフィール>

事業会社人事部門での経験を活かし、中小企業の人事制度改定に取り組んでいる。
また、新卒採用のノウハウ提供が好評を得ている。